



シリーズ・2019夏季手当のたたか①

単体 連結とも増収増益! 当期純利益も過去最高!

4月25日、JR東日本会社は、2018年度期末決算を発表しました。単体決算は**増収増益**、**営業収益・運輸収入が7期連続の増収**かつ、**過去最高**となり、また、**当期純利益が過去最高**となりました。

連結決算も**増収増益**。**営業収益は7期連続の増収**かつ、過去最高。また、**経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高**となりました。



2018年度は期首予想をすべて上回る実績に!

○損益計算書

(単体決算/単位:億円)

	2017年度 実績 A	2018年度 期首予想	2018年度 実績 B	増減		2019年度 予想 C	増減		
				金額 B-A	% B/A×100		金額 C-B	% C/B×100	
単体	営業収益	20,932	21,070	21,133	200	101.0	21,410	276	101.3
	うち運輸収入	18,367	18,520	18,567	200	101.1	18,800	232	101.3
	営業利益	3,951	3,870	3,918	△ 32	99.2	3,890	△ 28	99.3
	経常利益	3,589	3,490	3,548	△ 40	98.9	3,530	△ 18	99.5
	当期純利益	2,470	2,400	2,511	40	101.7	2,500	△ 11	99.5
連結	営業収益	29,501	29,940	30,020	518	101.8	30,700	679	102.3
	営業利益	4,812	4,820	4,848	35	100.7	4,880	31	100.6
	経常利益	4,399	4,400	4,432	32	100.7	4,460	27	100.6
	親会社株式に帰属する 当期純利益	2,889	2,890	2,952	62	102.2	3,010	57	102.0

連結決算の営業収益は初の3兆円の大台を突破!

決算概要を見てみると、単体決算は、新幹線、在来線とも基礎収入の増やインバウンド需要の取り込みにより、営業収益が増加となりました。委託費用や動力費、修繕費の増などにより営業費用が増加したことなどにより、営業利益は減益となりましたが、支払利息の減少や土地の売却益などを含めた当期純利益は増益の結果となりました。

連結決算は、運輸事業、流通・サービス事業、不動産・ホテル事業、その他の事業と全てのセグメントで増収増益となりました。

これは日々安全・安定輸送と収入の確保のために働くグループ会社を含めたJR労働者の努力の結果であります。東日本ユニオンは、社員・家族の幸福の実現のため、労働者にとって重要な賃金に関わる「2019年度夏季手当」要求満額獲得に向けて取り組んでいきます!